



## 図書館留学：教職協働の学習支援への取り組み ～語学力の向上に向けて～

2012年8月5日  
大学図書館問題研究会  
全国大会第7分科会



## 本日の報告の概要

### ■ 神戸学院大学図書館における学習支援の取り組みについて

- ◆ 神戸学院大学の概要
- ◆ 神戸学院大学図書館の概要
- ◆ 学習支援の取り組み展開における方針および背景について
- ◆ 学習支援の具体的事例について
- ◆ 図書館留学：教職協働の学習支援への取り組みについて
- ◆ 図書館留学の効果と評価について

### ■ まとめ

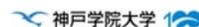
2



## 神戸学院大学の概要（1）

- 設立 1966年(2012年に法人創立100周年を迎える)
- 学部 7学部  
法学部、経済学部、経営学部、人文学部  
総合リハビリテーション学部、栄養学部、薬学部
- 大学院 7研究科、1専門職大学院  
法学研究科、経済学研究科、人間文化学研究科  
総合リハビリテーション学研究科、栄養学研究科  
薬学研究科(2012年4月開設準備中)  
食品薬品総合科学研究科  
法科大学院
- 学生数 約10,800人
- 教職員数 専任教員 約340人、専任職員 約170人（教務職員含む）

3



## 神戸学院大学の概要（2）

### ■ キャンパス環境と学部等構成(3キャンパス)

- ・ 有瀬キャンパス(神戸市西区)
- ・ ポートアイランドキャンパス(神戸市中央区)
- ・ 長田キャンパス(神戸市長田区)

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
法学部	有瀬 キャンパス	ポートアイランド キャンパス				
経済学部						
経営学部						
人文学部	有瀬キャンパス					
総合リハビリテーション学部						
栄養学部						
薬学部	ポートアイランドキャンパス					

法科大学院	長田キャンパス
-------	---------

4



## 神戸学院大学図書館の概要（1）

- 所在地 兵庫県神戸市
- 規模 有瀬図書館(9,805㎡)  
〔本館：地上5階建、新館：地下2階、地上2階建〕  
ポーアイ図書館(5,685㎡)  
〔A号館2階・3階〕  
法科図書館(1,420㎡)  
〔法科大学院 地下1階、地上1階〕
- 蔵書冊数 約108万冊
- 年間受入冊数 約3万冊
- 閲覧座席数 約1,900席
- 入館者数 約41万人／年（1日平均 約1,400人）
- 貸出冊数 約8万4千冊／年

5

## 神戸学院大学図書館の概要（2）

- 開館時間  
有瀬図書館、ポーアイ図書館  
・授業期間(平日、土曜日) 9時00分～21時00分  
・試験期間(平日、土曜日、日曜・祝日)  
8時45分～21時00分  
法科図書館  
・月曜日～土曜日 8時00分～23時00分  
・日曜・祝日 9時00分～21時00分
- 開館日数(2012年度予定)  
有瀬図書館 ポーアイ図書館 約295日  
法科図書館 約357日(年末年始のみ閉館)

6

## 神戸学院大学図書館の人員構成（2012年4月1日現在）

- 有瀬図書館(3部門)  
運営部門(専任職員7人、派遣職員1人、パートタイマー1人)計9人  
利用サービス部門(業務委託スタッフ20人)  
整理部門(業務委託スタッフ8人)
- ポーアイ図書館  
業務委託スタッフ11人
- 法科図書館  
業務委託スタッフ6人

<合計55人> ※学生アルバイト除く

7

## 学習支援の取組み展開における方針と背景(1)

### ■本学の方針

1. 建学の精神 「真理愛好」「個性尊重」
2. 教育基本理念  
「生涯にわたる人間形成の基点となりうる教育」  
「生涯にわたり高い専門性を修得できる教育」  
「グローバルな視点から地域社会の多様なニーズに対応できる教育」
3. 学長のスローガン 「元気な大学、神戸学院！」
4. 地域に開かれた大学として、地域との連携を重視

8

## 学習支援の取組み展開における方針と背景(2)

### ■文科省の答申等

1. 文科省中央教育審議会大学審議会「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について」(答申)2000.11.22
2. 文科省中央教育審議会「学士課程教育の構築に向けて」(答申)2008.12.24
3. 上記2と連動して審議が進められている、文部科学大臣が中教審に諮問した「中長期的な大学教育の在り方について」の報告(第四次報告2010.6.29)
4. 科学技術・学術審議会「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像」2010. 12

### ■文科省の就業力向上と経済産業省の社会人基礎力

9

## 学習支援の取組み展開における方針と背景(3)

科学技術・学術審議会「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像」  
(2010年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)

### 1. 大学図書館の機能・役割及び戦略的な位置付け

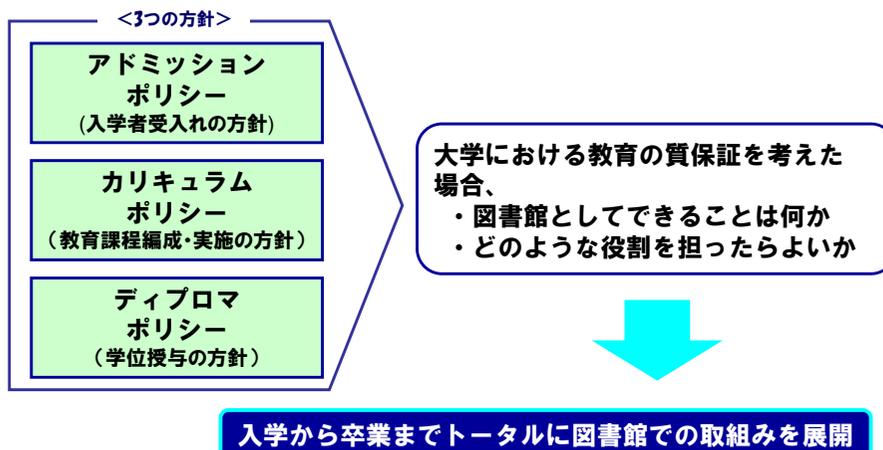
#### (3) 大学図書館に求められる機能・役割

##### ① 学習支援及び教育活動への直接の関与

10

## 学習支援の具体的事例について(1)

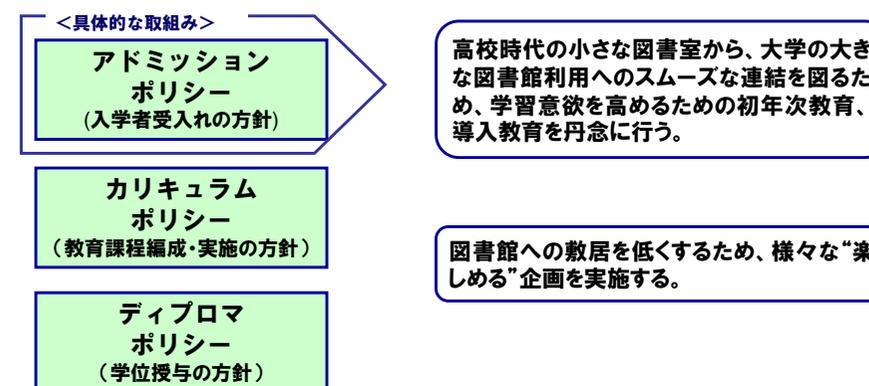
### ■ 学士課程教育における3つの方針の明確化



11

## 学習支援の具体的事例について(2)

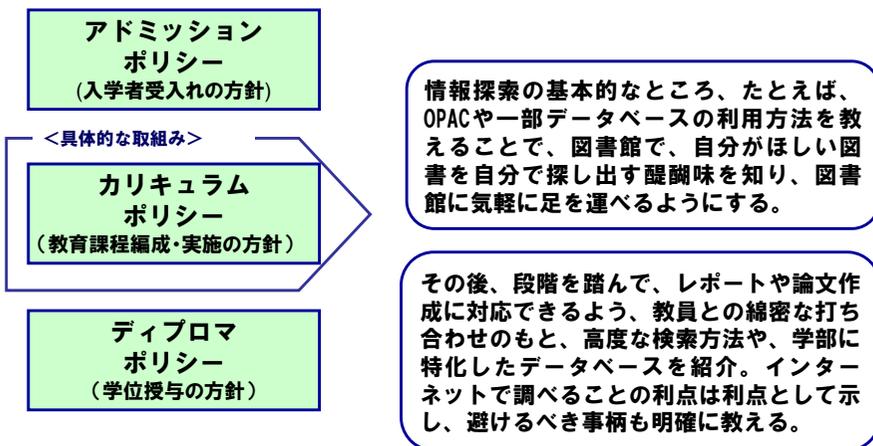
### ■ 学士課程教育における3つの方針の明確化



12

## 学習支援の具体的事例について(3)

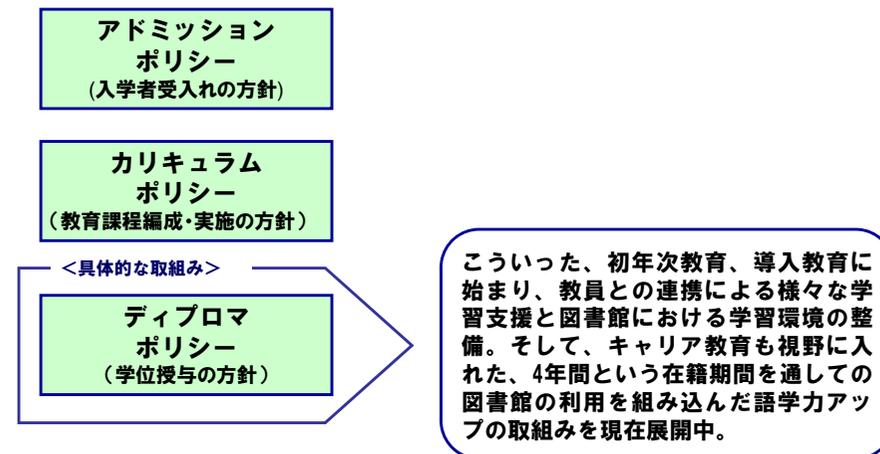
### ■ 学士課程教育における3つの方針の明確化



13

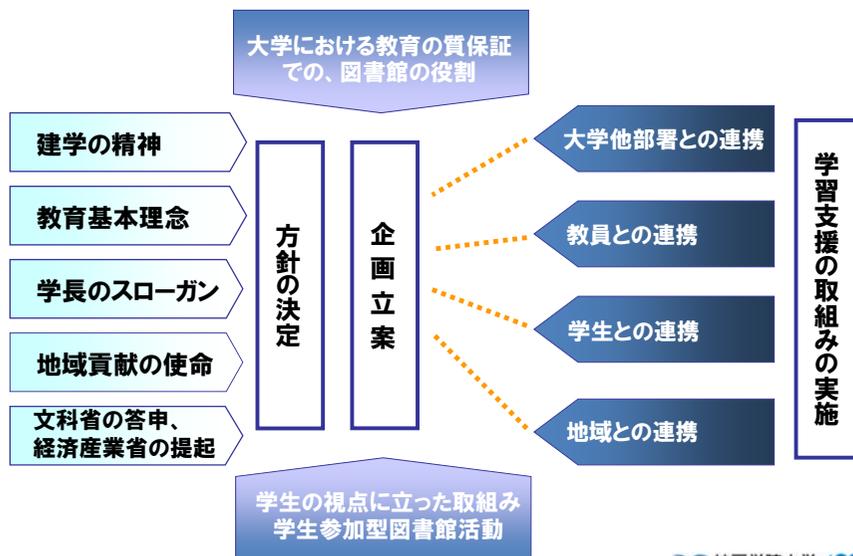
## 学習支援の具体的事例について(4)

### ■ 学士課程教育における3つの方針の明確化



14

## 学習支援の取組み展開の全体的な流れ



## 図書館留学:教職協働の学習支援への取組み(1)

### ■ 図書館留学の目的について

- ◆ 就職活動において重要視されている英語力をつけるための様々な支援を行う。  
⇒ 教育の場としての図書館の位置付けを明確化する。
- ◆ 図書館が英語力アップを図れる環境を整備する。  
⇒ 英語を学習できる場と適切な資料を提供する。
- ◆ 図書館が楽しく英語学習を継続できるよう支援する。  
⇒ 様々な企画(図書館留学のメニュー)を行う。

16

## 図書館留学:教職協働の学習支援への取組み(2)

### ■ 学生の語学力を高める支援に乗り出した経緯について

#### ◆ 新入生の英語力の低下

⇒ 近年、交換留学生として派遣できず

#### ◆ 英語の苦手意識

⇒ 就職活動において苦戦

## 図書館留学の構成(1)



## 図書館留学の構成(2)

### ■ 図書館留学の構成について

#### ◆ 10 English Menu (10種類のメニューを提供)

- ① 図書館留学コーナー
- ② My Favorite Book コーナー
- ③ Bilingual Library
- ④ 多読ラリー『てくてく English』
- ⑤ 多聴ラリー『English シャワー』
- ⑥ シネマで週1 English
- ⑦ Reading Square ~英語で語ろう!!~
- ⑧ 英語で Book Talk
- ⑨ 英語でTalk ~Let's enjoy English~
- ⑩ キャリアコーナー『世界を舞台に働こう!』

## 図書館留学のメニュー

## 図書館留学のメニュー(1)



Penguin Books や Oxford Reading Treeなどの質の高いリーディングテキスト、洋絵本やしかけ絵本、日本の昔話を英訳したものなど、多読・多聴用図書を多彩に準備。先生のお勧め本や図書館スタッフによる、季節ごとの図書の展示など、学生が思わず手に取ってみたいくなる魅力的な工夫を凝らして、学生の利用を促しています。



21

## 図書館留学のメニュー(2)



皆さんが日々読んでいる多読・多聴用図書の中で、これはお勧めという本を紹介するコーナーです。参加学生がお勧めの本の内容を紹介してくれたり、先生のお勧め本を紹介したりする「My Favorite Book コーナー」、また、図書館スタッフによる、季節ごとの図書の展示「てくてくSelection」など、思わず手に取ってみたいくなるような、魅力的な工夫を凝らして、学生の利用を促しています。



22

## 図書館留学のメニュー(3)



留学生や外国人教員、また、普段から英語に親しみたい学生のために、英語による対応のカウンターを設けています。図書館スタッフと英語での会話を楽しんでください。



The following language assistant is available.

**English**

Welcome!



23

## 図書館留学のメニュー(4)



最初は簡単なものから読み進み、楽しく、無理なく、マイペースに読み進むうちに、次第に英語力が身に着くと言われている「多読」を取り入れ、語学力の向上を図ります。ゲーム感覚で楽しみ、知らず知らずのうちに英語の基礎力が見につくことを意図しています。

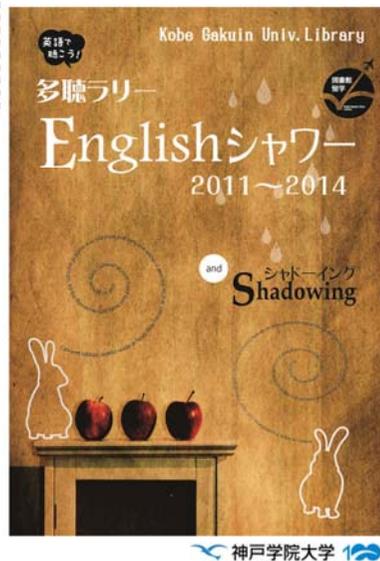


24

## 図書館留学のメニュー(5)

### 図書館留学 05 多聴ラリー『Englishシャワー』

多読と共に、その有用性が確立している「シャドーイング」を採用。ネイティブの発音やスピードに順応した耳を養います。CDから聞こえてくる英語を、聞くそばからすぐに口に出し、正確な音声の再現に注意を払いましょう。楽しみながら英語力が身に付くように、図書館では、工夫を凝らしています。



## 図書館留学のメニュー(6)

### 図書館留学 06 シネマで週1 English

視聴覚資料を活用して、生きた英語に触れるチャンスを提供します。洋画や英語のアニメを、英語字幕で観ることで、リスニング力を養い、映画の中で使われる、ワンフレーズを覚えさせることで、英会話センスを磨くことを意図しています。



26

## 図書館留学のメニュー(7)

### 図書館留学 07 Reading Square ~英語で語ろう!!~

インプットしたものはアウトプットしよう!! 多読ラリー「てくてくEnglish」や多聴ラリー「Englishシャワー」でインプットした英語はどんどん使ってみましょう。英語をしゃべれるようになる人は、アウトプットの量の多さが断然違います。積極的に口に出してこそ、実践に役立つ英語力が身につきます。「Reading Square」では、毎回多読の本を1冊選び、いっしょに読んで、いっしょに語る楽しい時間を過ごします。



## 図書館留学のメニュー(8)

### 図書館留学 08 英語でBook Talk

多読や多聴で上達した英語力を他の人に披露する場として、「英語でBook Talk」の実施を予定しています。多読を通して出会った本の紹介や、英語上達のために工夫したことなど、自由な発表の場です。



28

## 図書館留学のメニュー(9)



図書館留学 09 英語でTalk ~Let's enjoy English~

英語力を獲得する道のりは、長く、忍耐力を必要とするものです。本当に語学力が伸びているのか、不安にかられることもしばしばですね。そんな時は、図書館で、英語力の力だめし。図書館では、定期的に交換留学生を招き、自由に会話を楽しめる空間を提供しています。生の英語に触れるチャンスです。あなたも、日頃の努力の成果を確かめてください。



## 図書館留学のメニュー(10)



図書館留学 10 キャリアコーナー『世界を舞台に働こう!』

### 『世界を舞台に働こう!』

語学力を活かして世界で活躍している人物やその仕事の紹介をします。また、面接時に役立つ英会話、仕事で役立つビジネス英語など、実践的なスキルを磨くための資料を、2カ月ごとに内容を変えて展示しています。



## 図書館留学:多読ラリー「てくてく English」(1)

◆図書館留学 図書館の資料を利用して英語力をつけるための支援



## 図書館留学:多読ラリー「てくてく English」(2)

◆図書館留学 第1弾 多読ラリー「てくてく English」実施状況

※2012年6月30日現在 ( )内はボーアイ図書館の数で内数

区分	人数	申込者数	ポイント達成者数						
			5千語	2万語	4万語	6万語	10万語	50万語	100万語
学生	法学部	176	60	14	7	6	2	0	0
	経済学部	24	12	5	1	0	0	0	0
	経営学部	195	43	16	7	4	2	0	0
	人文学部	136	51	23	14	5	0	0	0
	総合リハビリテーション学部	10	1	1	1	1	0	0	0
	栄養学部	2	1	1	0	0	0	0	0
薬学部	30	15	5	4	4	2	0	0	
卒業生	5	3	2	1	0	0	0	0	
学外利用登録者	5	2	2	2	0	0	0	0	
教職員	8	1	1	0	0	0	0	0	
合計	591	189	70	37	20	6	0	0	

## 図書館留学:多読ラー「てくてく English」(3)

### ■ レベル0からはじめよう!

図書に語数別にラベルを貼っています。

**よう!**

- Level 0... 1~1500語
- Level 1... 1501~3000語
- Level 2... 3001~5000語
- Level 3... 5001~10000語
- Level 4... 10001~20000語
- Level 5... 20001語以上

図書館留学  
tosyokan ryugaku



33

## 図書館留学:多読ラー、多聴ラー(1)

### ■ 多読ラー・多聴ラー関連書籍蔵書数の増加

	2011年度	2012年度
有瀬図書館	1465冊	2212冊
ポーアイ図書館	527冊	817冊

※但し、2012年度は、6月30日現在の冊数



34

## 図書館留学:多読ラー、多聴ラー(2)

### ■ 2012年度多読ラー・多聴ラー 語数達成条件



-  5千語クリアで図書館オリジナルクリアファイルをプレゼント!
-  2万語クリアで図書館オリジナルバックをプレゼント!
-  4万語クリアで図書カード(1,000円分)をプレゼント!
-  6万語クリアで図書カード(1,000円分)をプレゼント!
-  10万語クリアで図書カード(1,000円分)をプレゼント!
-  50万語クリアで図書カード(2,000円分)をプレゼント!
-  100万語クリアで図書カード(5,000円分)をプレゼント!

35

## 図書館留学における学習支援

### 図書館と教員との連携

#### ■ 連携教員 8名(2012年7月1日現在)

##### 【授業での連携】

- ◆ 授業で多読ラー、多聴ラーを取り入れ、受講生は参加。成績評価の一部に多読ラー・多聴ラーを加える。  
(法学部の授業の場合:半期で50冊/1万5千語以上読んで、20%)
- ◆ ライティング課題として、My Favorite Bookに取組ませ、よい作品は図書館内で掲示。
- ◆ 多読ラー、多聴ラー参加により図書館オリジナルグッズ獲得により、成績評価に一定ポイントを加算。
- ◆ 事前・事後テストの実施により、多読・多聴の効果を測る。
- ◆ プレゼンテーションの授業において、「読み聞かせ」や「My Favorite Book 紹介」を実施。

36

## 図書館留学における学習支援

### 図書館と教員との連携

#### ■ 連携教員 8名(2012年7月1日現在)

- ◆ 「図書館留学」を学生に紹介、推薦
- ◆ 多読・多聴関連図書の見書協力
- ◆ 「My Favorite Book」の本の紹介
- ◆ 「英語でTalk ～Let's enjoy English～」に学生を同伴参加
- ◆ 「Reading Square ～英語で語ろう!!～」のfacilitator
- ◆ 図書館の個室にて、図書館の資料を使っての授業の実施
- ◆ 附属高校との、高大連携授業の取り組み



## 図書館留学の成果

◆ 多読ラリー「てくてくEnglish」、多聴ラリー「English シャワー」では、学習意欲を高めるため、所定の語数達成者を表彰し、その努力を称えます。



【多読ラリー「てくてくEnglish」表彰式風景】  
(2012年2月3日)

多読ラリー「てくてくEnglish」  
★5千語達成者 109人  
★2万語達成者 44人  
★4万語達成者 22人  
★6万語達成者 12人

(達成期間:2011年4月～2012年1月)

## 図書館留学の効果(1)

### ◆ 多読ラリー「てくてくEnglish」の効果

(2011年度参加者へのアンケートより)

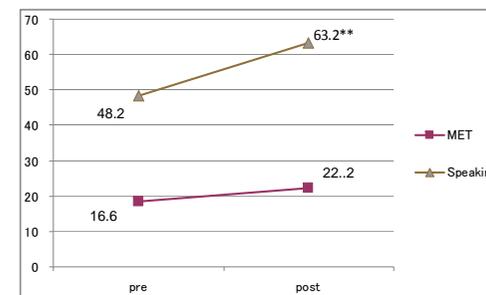
- ◆ 1年間多読ラリー「てくてくEnglish」を継続し、TOEICスコアが470点から590点にアップした。
- ◆ 英語を勉強する習慣がついた。英語以外の勉強する習慣も身についた。
- ◆ 英語に限らず、文字を多く読むようになった。
- ◆ 英語への苦手意識がなくなった。
- ◆ 英語などの語学を勉強する意欲が高まった。

## 図書館留学の効果(2)

### ◆ 教員による評価(2011年度後期授業内での予備調査)

#### 【多読による事前・事後テストの変化】

2011年度後期授業内で行なった予備調査では、学期の初めと終わりに35人の学生に対して Minimal English Test (MET6) というクローズドテスト (Maki, et al., 2011) を行い(65点満点)、さらに、そのうち13人に対して、6コマ漫画 (Heaton, 1966) を用いたストーリーテリング課題を行なったところ、両者とも、事後テストで有意な伸びが見られた。



(\*\*  $p < .01$ )

【参考文献】

Maki, H., Tokugawa, et. al. The minimal English test: Its correlation with the university entrance examination. 岐阜大学地域科学部研究報告. 2010, (28), p.51-58.

## 図書館留学のチェック機能(1)

### ◆「てくてくノート」で自己管理

エントリー時に渡す「てくてくノート」は図書館の手作りです。  
このノートにて、多読記録を自己管理。  
読んだ図書の書誌情報以外に、語数、感想、気に入った一文等、きちんと読んで、内容を理解していないと書けない項目を用意。自己管理に任せながらも、実は自分の学習方法をチェックしながら、確実に実力が着くようPDCAサイクルの中に組み込んでいます。努力の道のりがこれ1冊で把握できます。



## 図書館留学のチェック機能(2)

### ■エントリー学生の自己評価

#### ◆英語でTalk ～Let's enjoy English～

図書館留学のメニューでは、エントリー学生が定期的に、語学力の向上を検証できる機会を用意しています。  
インプットばかりしていても、英語は使えるようになりません。アウトプットして、実践的な語学力を身に着けるとともに、今の自分の実力を量りましょう！！  
インプットとアウトプットを有機的につなげて実践していくことが、語学力習得の効果的な方法です。学生は、常にモチベーション高く学習を進め、自信を深めています。



## 図書館留学についての第三者評価

### ◆ 研究会、セミナー発表等一覧

研究会等名称	主催	日時	場所	参加人数
第2回「学習支援プロジェクト」研修	私立大学図書館協会西地区部会阪神地区協議会	2011年7月27日(水)	関西学院大学大阪梅田キャンパス	16人
2011年度見学会	私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会	2011年9月14日(水)	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	37人
第2回研究会	兵庫県大学図書館協議会	2012年2月16日(木)	甲南大学岡本キャンパス	73人
第8回 学術情報ソリューションセミナー in 大阪	株式会社サンメディア	2012年6月22日(金)	ブリーゼタワー小ホール	100人
全国大会第7分科会：利用者支援B	大学図書館問題研究会	2012年8月5日(日)	コミュニティ嵯峨野	

## 図書館留学についての第三者評価

### 【事例報告】図書館留学：教職協働の学習支援への取り組み～語学力の向上に向けて～

(於：第8回 学術情報ソリューションセミナー in 大阪 主催サンメディア)

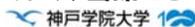
### 【アンケート結果】

- 大変参考になった・・・15
- 参考になった・・・21
- 参考にならなかった・・・0
- どちらとも言えない・・・1



## 図書館留学についての第三者評価(つづき)

- ・ 図書館員から教育に関わることを見習いたいと思った。
- ・ 「楽しむ」工夫、企画だったり、ポスターデザインなどが感じられた。
- ・ 図書館留学の発想とてもよいと思う。どのようにこの取り組みを学生さんに広報されているのかも聞いてみたい。
- ・ 図書館からの情報発信力のすばらしさを感じた。新しい取り組みと思う。
- ・ お話を伺うのは2度目だが、さらに進化しているようで、感銘を受けた。
- ・ 図書館発の取組みで、実行、良い結果をだされていることはすばらしい。
- ・ 図書館単独ではできない取り組みを他から協力を得ることによって成しとげたことはすばらしい。
- ・ 大学が抱えている問題に図書館が対応すべく企画され、運営が見事に図書館として、教育機関としてマッチしている事が素晴らしい。ネックは語学力(司書)だと思いますが...
- ・ 1回限りの企画ではなく、4年間を通してサポートしていくというところがとても有意義だと思った。図書館がどのように教育に関わっていけばよいか考えていく上で、参考になった。
- ・ 本学も5年前から教員と連携して図書館で多読を推進しており、当館にとってタイムリーな内容で興味深く拝聴した。



## 図書館留学についての第三者評価

「図書館留学」は、大学同窓会においても評価いただき、1,000万円の寄贈が決定。7月21日の同窓会総会で贈呈式が執り行われた。

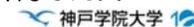
学校法人神戸学院の創立100周年を祝し、大学同窓会は学校法人神戸学院創立100周年記念事業募金に1,000万円を寄贈することを決定。ポートピアホテルで7月21日に開催された同窓会総会の席上、前田郁男会長が溝口史郎理事長と岡田豊基学長に目録を手渡しました。寄付金は、同窓会からの「智の寄贈」「学びの寄贈」として今後10年間にわたり次の事業に使われる予定です。



【寄贈目録を溝口理事長と岡田学長に手渡す前田同窓会長=左】

- ・ 智の寄贈：図書館留学「てくてくEnglish」の英語教材購入費
- ・ 学びの寄贈：TOEIC講座受講費の補助金

留学費の一部補助も来年度からスタートし、補助対象者は10年間で10人を予定しています。(7月23日付神戸学院大学HPより)



## 図書館留学についての第三者評価

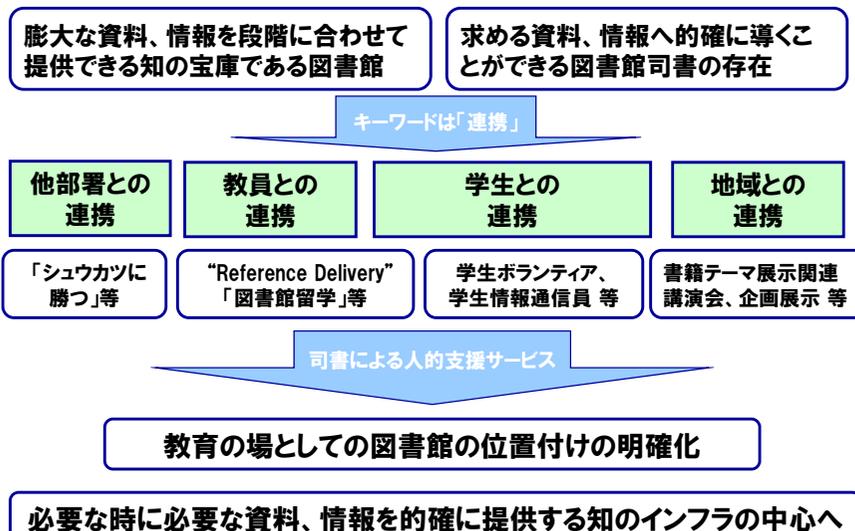
### 図書館の取り組みが私立大学図書館協会の研究助成に採択されました

私立大学図書館協会の2012年度研究助成(機関研究)に図書館の研究テーマ「図書館留学;教職協働の学習支援への取り組み~語学力の向上に向けて~」が採択されました。研究期間は、2012年4月1日から2013年3月31日までの1年間です。

図書館と教員が協働して学生の語学力向上を目指すこと、図書館自体を一種の語学習得のための学校ととらえており、「多読コーナー」の設置、「多読ラリー『てくてくEnglish』」などの企画がユニークであること等が採択につながりました。



## まとめ 教育支援のための取組み



謝辞

『図書館留学』は、予想を上回る反響をいただいております。一重に、以下の関係者の皆様方の温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

- ◆私立大学図書館協会(2012年度研究助成「機関研究」)
- ◆神戸学院大学同窓会『智の寄贈：図書館留学「てくてくEnglish」の英語教材』
- ◆神戸学院大学経営学部 森下美和先生  
神戸学院大学法学部 安田有紀子先生  
他英語担当の先生方
- ◆オックスフォード大学出版局、丸善株式会社神戸支店、同図書館サービス事業部関西センター、アデコ株式会社神戸支社、株式会社サンメディア

ご清聴ありがとうございました。

神戸学院大学図書館事務グループ  
小畑 佳弘  
kobata@j.kobegakuin.ac.jp